



◇編集・発行／無実の政治犯 星野さん大坂さん全国救援会
◇連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋 2-8-16 石田ビル4階
◇TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226 ◇Email : hoshinoosaka@gmail.ne.jp ◇ホームページ <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>

◇頒価 200 円 ◇毎月 1 回 第 1 月曜日発行 ◇会費 年間 3000 円
◇振替口座 (ゆうちょ銀行) 00140-7-635858 (星野・大坂全国救援会)



イラン侵略戦争やめろ! 星野国賠勝利訴え東京高裁包囲デモ (4月9日)

沖縄闘争で戦争止めよう 5・24全国集会に集まろう

辺野古で高校生を乗せ平和学習を行っていた船が転覆し、女子高校生と船長の2名が亡くなった痛ましい事故を契機に、反動マスコミと極右勢力による反基地闘争への誹謗中傷が鳴りやみません。高市政権が事故を利用して沖縄闘争をつぶし、中国侵略戦争への地ならしを行おうとしていることは明らかです。攻撃の激しさに、オール沖縄勢力は「活動自粛」を打ち出すなど対応不能に陥っています。しかし沖縄は今、イラン侵略戦争を支える出撃基地となつていきます。国家権力の不正義の限りを尽くした基地建設を実力で阻み続けた辺野古闘争の真価が今ほど問われるときはありません。沖縄闘争の発展は、戦争を止める力を持っています。

今年の5・15沖縄闘争を全力で闘い、5・24星野大坂集会から6・14全国反戦集会へ。戦争を止める巨大な闘いを、星野・大坂救援会が先頭で切り開こう。

拙著『石ころを石礫に』安倍氏暗殺・山上徹也さん裁判記録が三一書房から5月1日に出版される。奈良地裁がフリー記者の私に記者席を提供してくれ、16回の全公判を傍聴し、フェイスブックなどに公判レポートを書いた。ぜひ本にしてほしい。などという読者の後押しで本が生まれた。見本ができたので関係者に献本した。救援連絡センターの代表、大口昭彦弁護士から4月23日、「昨夜、全部拝読した。実にタイムリーな出版だ。安倍国葬違憲訴訟で、山上氏の証人請求が却下されているので、高裁にこの本を証拠として提出

星野・大坂全国救援会共同代表 浅野健一

することを検討したい」と連絡がきた▼この本は3月上旬、あけび書房(岡林信一社長)から出版予定だったが、同氏と編集方針が合わず、刊行を取り止めた。同社は、私の取材協力者だった辻井彩子氏を著者にして、4月20日、公判「私記」を出した。4月16日、東京地裁に同書の出版差し止めの仮処分を申立てた。日大全共闘有志らが三一書房に繋いでくれた▼山上さんの控訴審の予定は決まっていない。山上さんの社会復帰を不可能にする一審の「無期」が減刑されるよう期待したい▼三一書房は、著者(浅野)の紹介での10冊以上の注文は2割引で販売してくる。メールまたはFAXでお申し込みください。

今月の紙面

- 5・24全国集会から6・14反戦集会へ ……2
- 獄中処遇の悪化許すな 東拘申し入れへ ……3
- 星野国賠控訴審での国の「あがき」 ……4
- 星野国賠勝利へ東京高裁申し入れ行動 ……5
- 大坂解放1万人署名 各地の闘い ……6
- 埼玉絵画展で浅野健一さん講演会 ……7

5・24星野大坂集会から6・14全国反戦集会闘い 帝国主義打倒・大坂奪還へ進もう



前ゲート古野辺を止めた建設工事基地（2025年5月19日 沖繩）

アメリカ帝国主義とイスラエルによるイラン侵略戦争を絶対に許すことはできません。「望ましいのは石油を奪うこと」「石器時代に戻す」等々、この戦争が徹頭徹尾帝国主義の侵略戦争であり、核兵器を準備しイラン人民大虐殺を企てていることをトランプは隠そうともしません。

何より許せないのは、高市政権がこの不正義の侵略戦争を支持し、日本がイラン侵略戦争の最大の参戦国となっていることです。米軍の世界展開を支えるのが日米安保Ⅱ戦争同盟であり、在日米軍基地の存在、その最大

実体としての沖繩です。

巨万の民衆の反戦決起と 一体となって高市打倒へ

中国侵略戦争―世界戦争として開始されたイラン侵略戦争に深々とのめりこみ、武器輸出全面解禁をはじめ改憲・戦争への動きを加速させる高市政権に、労働者民衆は激しい怒りと危機感を持っています。今、国会前に万余の労働者が集まり始めていますが、これは巨大な民衆決起のほんの始まりにすぎません。

星野文昭さん、大坂正明さんが沖繩奪還、安保粉砕・日帝打倒を掲げて闘った1970年安保・沖繩闘争を超える情勢が目の前に迫っています。この民衆決起を、私たちは帝国主義打倒の巨大な反戦闘争に発展させよう。それが中国侵略戦争―世界戦争を阻止し、星野さんが生涯をかけて貫いた「すべての人間が人間らしく生きられる社会」を実現する唯一の道です。

星野・大坂全国救援会は来る

5月24日、葛西区民館ホールにて「星野国賠完全勝利 大坂正明さん奪還へ 5・24全国集会」を開催します。星野・大坂闘争は1971年11・14渋谷暴動闘争弾圧と半世紀以上にわたり闘い抜いてきました。侵略戦争を許さない闘いこそが勝利を手繰り寄せると確信し、5・24集会を闘います。結果を訴えます。

虐殺居直る国家権力打倒 民衆の怒りで国賠勝利を

昨年3月、東京地裁は星野さん獄死の責任が国にあることを認める判決を出しました。政治犯虐殺を許さない労働者民衆の怒りが裁判所を包囲し、勝ち取られた勝利です。

高市政権はこの地平を何としてもひっくり返そうと控訴審で悪あがきを続け、東京高裁に政治判断を迫っています。5・24集会は戦争を許さない私たちの根底的な怒りで星野国賠完全勝

利へ進むための集会です。結審後に出された国の反論書に怒りをたぎらせ、星野さんを虐殺した国家権力を打倒しつくす勢いで6月26日の判決に向かおう。

これ以上の長期勾留許さない 大坂奪還へ決戦体制固めよう

大坂正明さんの控訴審はいまだに期日が決まりません。でっち上げ調書だけで有罪認定した一審判決を弁護団と救援会の闘いが決定的に追いつめています。大坂さんは無実だ！ この真実を、陸続と反戦決起する労働者民衆の中に持ち込み、高市政権打倒へ向かう闘いの心棒に据えよう。獄中の政治犯救援は弾圧を許さず民衆の闘いを力強い実力闘争へと発展させる原動力です。1万人署名を集め、その力で控訴審に乗り込もう。

大坂さんはすでに獄中9年、戦時下で日々悪化する獄中処遇

と対峙し続けています（3面参照）。これ以上の超長期勾留を絶対に許さない！

大坂さんと固く団結し、命と健康を守りぬく闘いを救援会の喫緊の課題として大きく取り組もう。控訴審勝利・一日も早い大坂さんの奪還へ決戦体制を作り上げる5・24集会に集まろう。

5・15沖繩闘争から5・24、 6・14闘争で戦争止めよう

辺野古反基地闘争へのさまざまなバッシングは、戦争情勢だからこそ起きています。5・15沖繩闘争に全力決起し、沖繩の積もり積もった怒りを燃え上げさせよう。トランプ・高市を打倒し戦争を止めるため、星野さん、大坂さんのように闘う時代を5・24集会で切り開こう。そして6・14反戦闘争を爆発させよう。その先頭に救援会が立ち、星野・大坂闘争に勝利しよう。

5・24 星野大坂全国集会

5月24日（日）午後1時、葛西区民館ホール
（江戸川区中葛西3-10-1 東京メトロ東西線葛西駅徒歩5分）

6・14 全国反戦集会・首相官邸デモ

6月14日（日）午後1時、東京・芝公園23号地
主催 改憲・戦争阻止！大行進

人間らしく生きさせろ！ 大坂さんが東拘の劣悪な処遇を弾劾

大坂正明さんが不当逮捕され
てから9年の歳月が経過します
「通信91」（本紙11号付録『獄中
通信』掲載）で大坂さんは「も
う9年、まだ9年といった両方
の思いがあります」と心情を綴
り、最近の拘置所の非人間的な
処遇の悪化を「虐待レベル」で
あると強く弾劾しています。

被収容者の命と健康を一顧 だにしない極悪の戦時処遇

こんな環境に9年！ 大坂さ
んの訴えに、私たち救援会は正
面から応え、大坂さんの命と健

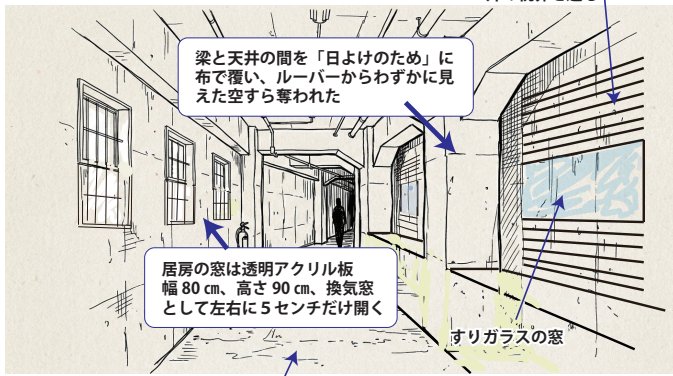
康を守る闘いを強めよう。劣悪
な獄中処遇に立ち向かい日々勝
利を積み重ねている大坂さんと
思いを一つに闘いぬこう。

超えてその自由を制約すること
は許されない「未決拘禁者に対
しては、その身体的・精神的健
康を保持できるようにするため
：格段の配慮をなすべき」「居室
から外部が眺望でき、自然の採
光も可能となるような居室」「地
上運動場における戸外運動の機
会を与え」「最低1日1時間の戸
外運動を実施」に努めるよう勸
告しました。それから20年、獄
中処遇の実態は何一つ変わらな
いどころか、一段と悪化してい
ます。

大坂さんが告発・弾劾したの
は、①節電と称する昼間の消灯
の強制、②外の窓をふさぐカー
テンの設置、③職員不足を口実
とした屋外運動日の削減（3分
の1に減！）です。

2006年3月、日本
弁護士連合会は東京拘置
所に対し「勾留の目的を
で健康を害するほどの劣悪な食
事事情を紹介し「人間らしい生
活を求めることは、どのような
人にも認められるべき」と書い
ています。まったくその通りで

東京拘置所の外廊下のイメージ図



屋外運動日が3分の1に

2025年10月以前

日	月	火	水	木	金	土
1	②	③	④	⑤	⑥	7
8	⑨	⑩	⑪	12	⑬	14
15	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	21
22	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	28

2026年現在

日	月	火	水	木	金	土
1	2	③	4	⑤	6	7
8	9	⑩	11	12	13	14
15	16	⑰	18	⑱	20	21
22	23	⑳	25	26	27	28

色で付けた日が屋外運動日。職員不足を口実に入浴日（月・水・金）の運動が取りやめに

す。人間らしく生きさせろ！
被収容者の命と健康を顧みな
い姿勢は、労働者民衆の命と権
利をないがしろにする戦争政治
と一体です。この許しがたい現
実を、絶対に変えよう！

東拘申し入れ行動に集まろう

5月14日、東京拘置所に対し
て申し入れ行動を闘います。

救援連絡センター第22回定期総会 獄中処遇改悪許さず闘う決議あがる

4月4日、救援連絡センター
の第22回総会が渋谷勤労福祉会
館で行われ、救援会を代表して



星野暁子さんが登壇し大坂さんが告発する東拘の処遇問題を訴えた（4月4日）

星野暁子さんが発言しました。
「救援センターの歴史的使命
を果たす時が来た。今こそ戦争
を止める行動を起こそう」「星野
国賠と大坂裁判に勝利しよう」
と述べたあと、喫緊の課題とし
て大坂正明さんが訴える東拘の
処遇改悪問題を提起し「絶対に
大坂さんを健康で取り戻したい。
被収容者の命と健康を奪う攻撃
を許さない闘いを共通の取り組
みとしよう」と訴え、決議文と
ともに拍手で確認されました。

**獄中処遇の悪化を許すな！ 大坂正明さんの
命と健康を守れ！ 東京拘置所申し入れ行動**

5月14日（木）午後1時、小菅万葉公園集合

星野国賠控訴審

控訴審での国側の「あがき」

星野国賠弁護団 岩井信 弁護士

控訴審の進行

控訴審は、通常1回で結審することが多く、本件も裁判所は第1回期日において「今日、結審でいかがか」と切り出してきました。これに対し国は、突然、反論の意見書を提出したいと言いました。

そして遅れて出したのが、福岡刑務所医務部長（医師）の意見書です。

国は、この意見書に基づき、仮に原判決が認定する午後9時40分に再開腹手術の準備を開始し



報告集会で裁判の説明をする岩井弁護士

医療センターの医師らとも相矛盾する意見書を提出してきました。その訴訟態度は信義に反するといふべきです。

18時50分に何が起きたか

国は、今回の控訴審では、午後9時40分の段階で気づいても遅すぎたと主張しています。にもかかわらず、そこまで症状を悪化させたことを見過ごしたのには仕方がなかったとも主張しています。

しかし、血圧が急激に低下した18時50分のカルテには、次の記載があります。

「18:50 ナースコール 痰が絡む、鼻がつまる、息が半分しかできない、白い馬が何頭も見える、と訴え、しきりに咳払いしている」

この状態について、医療センターの医師は「普通に息してたんじゃないですかね。（中略）呼吸について悪そうな感じは受けなかったですけどね」と第一審で証言しましたが、あまりにもカルテの記載に反して信用できません。文昭さんはナースコールをして助けを求め、「白い馬が何頭も見える」と訴え、「息が半分しかできない」と言って、「し

きりに咳払いしている」のですから、呼吸不全は明らかです。

なぜ、この時に血液生化学検査をしなかったのでしょうか。

それは、すでに医療センターの技師は帰宅後だった可能性が高く、血液検査は実施できなかったからと思われます。肝切除術の術直後に血液検査ができない場所、本手術はすべきではなかったのです。

医師とは誰か？

第一審の意見書は高松刑務所医務部医療第四課長が作成し、今回の控訴審の医師ともども国と雇用関係にあります。刑務所医療を擁護する立場の医師ですから、その内容は慎重に吟味すべきです。

これに対して、当方の協力医が、国側の意見書に対し数日での意見書を作成したのは、今回のような医療があつてはならないという医師としての使命からです。

第一審判決を紹介した『医療

判例解説』のコメントを書いた肝胆臓外科医が、「そもそも、本件医療施設で実施すべきではない手術であったと思われる」。

「本件における医療側の対応は、肝切除術における術後管理の「イロハ」の「イ」から誤っていたと評価せざるを得ません」と強い口調で書いているのも、今回のような医療に驚き、呆れ、怒っているからです。

「本件でいかなるタイミングでも再手術の機会はなかったとする主張は詭弁であり、証人医師らを信頼して手術を承諾した星野氏の期待を裏切るものであります」

控訴審は2月13日に結審し、6月26日に判決となります。

国の控訴は速やかに棄却されるべきです。

星野国賠控訴審 判決期日

6月26日（金）午前11時、東京高裁（717号法廷）

午前9時30分より裁判所前街宣／午前11時30分、弁護士会館講堂クレオCにて記者会見と報告集会

6月26日、星野国賠控訴審判決に集まる

絶対勝利へ高裁申し入れ行動

全国救援会は4月9日、星野国賠控訴審（東京高裁第23民事部古谷恭一郎裁判長）の結審後に出された、星野さん虐殺を居直る国の準備書面を徹底弾劾する申し入れ行動を行いました。

渋谷闘争超える闘いを

星野文昭さんは1971年11・14沖縄返還協定批准阻止の渋谷暴動闘争を大坂正明さんらとともに先頭で闘い、「殺人罪」



申し入れに先立ち東京高裁前でシュプレヒコールを上げる（4月9日）

をでっち上げられました。獄中44年、無実を訴え不屈に闘う星野さんを、徳島刑務所はがんを放置して手に負えなくなるまで悪化させ、東日本人矯正医療センターはでたらめな術後管理で獄死させました。

帝国主義の侵略戦争に反対し、沖縄人民・アジア人民との連帯の闘いに立ち上がった星野さんを国家権力が虐殺した！この事実に対する怒りは、戦争の元凶＝帝国主義を倒し、星野さんが終生訴え続けた「すべての人間が人間らしく生きられる社会」の実現までやむことはありません。

全国から怒りの申入書届く

裁判は今年2月13日に結審しました。国が一番判決を覆すにたる証人を準備できない中、裁判長は双方に反論の書面を出すように指示し救済を図りました。期限の3月31日までに原告、被告双方が準備書面を提出しましたが、国は書面の中で裁判の経

過を一切無視し、星野さん虐殺を居直る許しがたい文言を書き連ねました。それは裁判所に「国の言うことを聞け」と政治判断を迫るものです。獄中者の命と人権を踏みこむことを当然と言わんばかりの腐りきった国の主張こそ、中国侵略戦争に突進する高市政権の姿です。

国の反論書が提出されて1週間余り、全国の仲間から続々と怒りの申入書が救援会に届けられました。「『不作為の義務違反』であっても立証責任は原告にある」とは何か！ 必要な検査を行わなかったこと、再開腹手術という適切な措置がとれなかったこと、因果関係はないというのか「医療センターは看守もオンコール体制だから、救急車を呼ぶだけでは患者を搬送できず手遅れだなんて、そんなもの病院とすら呼べない」「医療センターの敷地内に官舎があり、地域の高度な専門病院は15分で搬送できる距離に8カ所以上ある。これで救急搬送できないはずがない。星野さんは殺された。実態を踏まえないでたらぬ国の主張を、判決に反映させることは許さない」「米帝のイラン侵略戦争を支持する高市政権に裁

判所は屈するの否か、裁判官が問われている。歴史の審判に耐える判決を求めろ。

当初は涼しい顔で「30分をお願いします」と言っていた東京高裁民事訴訟管理官も、救援会の怒りの迫力と、ジャーナリストで救援会共同代表の浅野健一さんが申し入れに加わったことで俄かに緊張しだし、姿勢を正

申入書（抜粋）

星野さんは殺された

三多摩星野文昭さんを救う会

星野文昭さんが亡くなったと連絡を受け、暁子さんと一緒に東日本人矯正医療センターに駆けつけた時、入り口には十数人の刑務官や警備員が立ちほだかっていました。救急車で運ぶための人員は十分にいたのです。

オンコール体制で呼び出したとしても官舎は隣にあり、いつでも対応可能です。国の反論書は、現場を知らない人を騙すための偽りの答弁です。医療センターは体制をとれたのに、星野さんを放置したことは明白です。

医療センター近隣の専門病院は、立川市内で、独立行政法人国立病院機構災害医療センター

さざるを得なくなりました。運動の力が裁判所を動かします。イラン侵略戦争と高市政権の

姿勢に危機感を覚える巨万の民衆が毎週のように国会に押し寄せています。渋谷暴動闘争を超える巨大な反戦決起を星野・大坂救援会こそがけん引しよう。判決期日は6月26日、全国から結集し裁判所を包囲して闘おう。

（立川基地内）、立川相互病院、立川中央病院、西砂川病院、川野病院、石井病院、小林内科、共済病院等があり、どこも肝臓専門医が在籍しています。昭島市には、東京西徳洲会病院もあります。救急車で行けば、全部15分以内で到着できます。救命する意思があれば搬送は可能であり、救命できたのです。病院としての責任を放棄し、被収容者の命と健康を保障しない国の責任は重大です。国の誤りは正されなければなりません。

医療センターはおよそ病院とは言えない抹殺病院ではないのか。今、大勢の人を虐殺する帝国主義のイラン侵略戦争、中国侵略戦争を目前に万余の労働者が立ち上がっています。その声に応える判決を求めます。

1万人署名で大坂さん奪還へ

戦争に反対し国会に巨万の労働者
帝国主義打倒・大坂解放訴え署名

4月8日と19日、「イラン戦争反対、改憲阻止、高市政権打倒」の国会行動が闘われ、それぞれ数万人の労働者民衆が結集しました。この日、私たち救援会は改憲・戦争阻止！ 大行進の仲間と共に行動し、大坂正明さん解放署名を集めました。



国会前に集まる労働者に大坂解放署名を訴え
(4月19日 財務省上交差点)

国会前に向かう人々が、川の流れのように途切れることなく

国会に向け途切れない人波
沖繩から参加した人も署名



雨の中、渋谷駅ハチ公口から屋根のある宮益坂口のバスターミナル前に移動して署名街宣

多くの方が足を止め、訴えを

聞いてくださり、多くの署名が集まりました。

「国家が絶対にやってはならないのは戦争と冤罪。戦争と冤罪を強行する国家は倒すしかないよ」「9年もの未決勾留はひどい。刑罰の先取りじゃないですか。大坂さんの健康が心配です」の声。

高年齢の女性に声をかけると、「今日は家族と一緒に沖繩から来たの。沖繩は怒っているよ。私、星野さん・大坂さんの救援会の会員です」とおっしゃいました。救援会が全国にあるというのはすごい力で、感動です。「大坂さんを奪還できるぞ」という思いがわきたちました。

雨の中、渋谷街宣

4月23日、恒例の渋谷街宣です。あいにくの雨でしたが、明るく、元気に署名を訴えました。一人の学生が関心を寄せてくれたので、1971年、学生と青年労働者が渋谷暴動闘争を命懸けで闘ったこと、「政治犯」弾圧に対する国家権力の暴虐さは許せないことを熱烈に話し、署名してもらいました。インパクトを与えられたとしたらうれしいです。

博多駅前到大坂さん奪還の訴え響く

星野文昭さんを取り戻す会・九州 吉田光男

取り戻す会・九州(代表・野中宏樹牧師)は「大行進九州」と共催で毎月1回、「星野定例会議」を開催しています。内外の政治・経済情勢を討議し、各地で取り組まれている闘争や野中代表が関わっている反原発・佐賀空港闘争が紹介されています。最近の話題は、熊本・健軍の「長射程ミサイル搬入阻止闘争」の報告などがありました。

地のない沖繩を求めて沖繩返還協定批准阻止闘争を闘った大坂正明さんは冤罪・無罪です」と元気に訴えました。逮捕から9年も経過していること、3年前の裁判内容を無視した懲役20年の不当判決、高齢化に伴う身体

4月15日の会議の前段に約1時間、JR博多駅前で大坂奪還署名街宣を、「4・29沖繩デー天神反戦デモ・集会」「昭和100年」式典許すな！ 安保粉砕・全基地撤去)アピールと併せ、大行進九州と共催で行いました。

当日は朝から雨でしたが「基



大行進の仲間と「トランプ・高市打倒」訴え大坂署名集める(4月15日)

球弧を戦場とした中国侵略戦争が日米帝国主義によって画策されています。「基地と戦争に反対した大坂さんの闘いは正義」「一日も早い大坂さんの解放を」との訴えが博多駅前にはびこりました。また「4・29沖繩デー天神反戦デモ・集会」に向けて、イラン侵略戦争を徹底弾劾し、開始された世界戦争を止めようと力を込めました。集会は「戦犯ヒロヒトを断罪する」をテーマに、天皇によるアジア侵略と沖繩切り捨ての歴史的事実を明らかにする内容です。大坂署名と一体のこもった街宣になりました。

浦和絵画展で浅野健一さん講演会

埼玉・星野ネットワーク 皆川学

4月18日、JR浦和駅前のさいたま市市民活動サポートセンター・多目的展示スペースで「星野文昭絵画&パネル展in浦和」を行いました。今年の展示では、星野さんの絵画と星野さんの生い立ちから洪谷闘争に至るまでの写真パネルに加え、在日米軍のイラン出撃基地となつている沖縄の現状を示した大型パネルを制作しました。

大坂さんとの面会も報告

駅前で配布していたチラシを見て、「僕は学生運動に興味がありません」といって会場まで足を運んだ青年が私たちの説明を1時間にわたって聞いていくなどうれしい出会いもありました。特にパネルに反応し「日本がこ



絵画展で学習講演会を行った全国救援会の浅野健一共同代表（4月18日）

ここまで参戦していることに驚いた。友達にも見せる」と写真を撮っていききました。来場者数は3日間で95人、署名は10筆。

初日の18日夜は、全国救援会の共同代表でジャーナリスト・浅野健一さんの学習講演会。浅野さんは4月15日、東京拘置所で大坂正明さんに面会してきたばかりでした。大坂さんは元気な様子で「極右の高市首相の内閣支持率が異常に高いのが理解できない」「一九八〇年代からの新自由主義、グローバリゼーション、総評解体などで、権力が労働運動を潰した結果だと思ふ」と語り、沖縄・辺野古での同志社国際高校の生徒と船長の事故死とその後の基地建設反対運動へのバッシング、現職陸自エリートの中大使館侵入に心を痛めていたそうです。「5月の沖縄の闘い、今年の8・6広島原爆ドーム前への結集が重要」と私たちの闘いに期待を寄せていたとのこと。

戦争を止める信念で

講演会のタイトルは「日本の

司法の闇とメディア」安倍氏暗殺・山上徹也さん裁判報道の検証」。浅野さんは高校時代に「ジャーナリストの役割は、戦争を止めること」と思つてジャーナリストを志したそうです。山上徹也さんの公判取材では、昨年10月28日の初公判から、今年1月21日の判決までの15回の公判全部を傍聴しました。

「公判は奈良の特別警備法廷で開かれ、山上さんは裁判員に予断を与えるかのように腰縄姿で入廷させられていた。山上さんの法廷での印象は、だんだん哲学者のように見えた」

「山上さんは手製の銃を使つたが、アメリカ合衆国憲法修正第二条は、人民の利益になるならば武器の保有の権利を認めている。山上さんへの無期懲役判決は、人民の革命を許さないという権力の意志とみるべきだ」と浅野さんは喝破しました。

浅野さんの新著『石ころを石礫に 安倍氏暗殺・山上徹也さん裁判記録』は、5月1日に三一書房から発売。題名に「修正第二条」が生きています。

演劇祭に参加し大坂署名41筆

星野大坂救援会・東京西部 原田明佳

東京・世田谷では「路上演劇祭」という催しに参画して毎年、星野絵画展をやってきました。今年4月11日、星野大坂救援会・東京西部全体での取り組みです。

会場の広場はほぼ千歳烏山駅前、演劇が始まると人の足が止まります。「イラン侵略反対！トランプ打倒！沖縄を戦場にすんな！高市打倒！星野絵画展」の看板をかけて「路上」絵画展スタートです。

星野さんの絵とともに71年洪谷闘争のパネルを並べ、大坂正明さん解放の署名を呼びかけました。駅頭より人の歩みが緩く、すぐ会話になります。



公園で絵とパネルを展示し署名呼びかけ（4月11日 烏山区民センター前広場）

「大坂さんて誰？」
「沖縄返還協定反対デモで逮捕された人です」
「殺人罪でつちあげつて、どういふこと？」
「警察：検察は現場写真に1枚も写っていないのに、大坂さんが犯人だと言っているんです」
「警察はなんでそんな無茶をするの？」
「世界中で戦争が始まっています。沖縄からイランへ米軍が出撃しています。政府は反戦のたたかいを黙らせたいんです」
驚き、怒り、うなずいて、次々と署名に応じてくれます。
そこへ演劇祭の出演者兼スタッフがかけてきて「星野さん一審勝ったんだね、おめでとうございます！」。別の出演者は、やおら大坂リーフをつかみ取ると、即興で自分の芝居の小道具にしてしまう。
通行人の反応も演劇祭関係者の注目も、明らかに去年より熱いなかで、41筆の署名を獲得しました。高市を打倒して大坂さん奪還、星野国賠勝利へ！

インフォメーション

■大坂さんの命と健康を守れ！東京拘置所申し入れ行動

5月14日(木) 午後1時、小菅万葉公園集合
(東武スカイツリーライン小菅駅徒歩2分)

■5・15沖縄闘争 沖縄現地街宣

5月16日(土) 午後2時30分～午後4時
沖縄県庁前交差点・パレットくもじ前

■5・15沖縄闘争

5月16日(土) 午後4時、国際通りデモ／午後6時半、5・15集会(那覇市前島3-25-50 船員会館)

5月17日(日) 反基地闘争(午後0時半、嘉手納基地抗議デモ／午後3時、勝連分屯地抗議闘争)

5月18日(月) 辺野古現地闘争(午前8時30分ゲート前)
主催 改憲・戦争阻止！大行進沖縄

■須賀武敏さん出獄歓迎

5月23日(土) 午前8時 横浜刑務所玄関前
(横浜市営地下鉄港南中央駅徒歩6分)

主催 迎賓館・横浜裁判の完全無罪をかちとる会

■星野・大坂全国集会

5月24日(日) 午後1時 葛西区民館ホール
(東京メトロ東西線葛西駅徒歩5分)

■大坂正明さん解放！東京高裁包囲デモ&街宣

5月28日(木) 正午 日比谷公園霞門集合
午後1時 東京高裁前街宣

■帝国主義打倒・大坂正明さん解放！渋谷街宣

6月11日(木) 正午～午後1時 渋谷駅ハチ公口駅前広場

■6・14全国反戦集会 首相官邸デモ

6月14日(日) 午後1時 芝公園23号地
主催 改憲・戦争阻止！大行進

■大坂正明さん解放！東京高裁申し入れ・署名提出行動

6月18日(木) 正午 日比谷公園霞門集合～デモ、街宣
午後2時 東京高裁申し入れ・署名提出行動

■沖縄を出撃基地に、戦場にするな！星野文昭・暁子絵と詩展

6月19日(金) 正午～午後7時
6月20日(土) 午前10時～午後6時30分
6月20日(土) 午後6時30分 宮古島と杉並を結ぶ講演集会 講師 清水早子さん(ミサイル基地いらぬ宮古島住民連絡会共同代表)／岩井信弁護士(星野国賠訴訟代理人)
6月21日(日) 午前10時～午後5時
セッション杉並1F展示室(丸ノ内線東高円寺駅徒歩5分)
主催 無実の政治犯星野さん大坂さん救援会東京・西部
改憲・戦争阻止！大行進杉並／大行進東京西部

■横浜星野絵画展&大坂裁判学習会

6月19日(金) 午前11時～午後7時
6月20日(土) 午前11時～午後5時
6月21日(日) 午前11時～午後7時
サルビアホールギャラリー(神奈川県横浜市 鶴見区民センター JR京浜東北線「鶴見」駅東口徒歩2分)
主催 星野・大坂救援会神奈川

■大阪北摂・星野文昭★暁子 絵と詩展

6月20～21日(土、日) 午前11時～午後6時
6月21日(日) 午後4時「日本を戦場にするな」(森の映画社)上映とミニ討論集会
高槻市立生涯学習センター第1会議室(高槻市役所北隣、高槻市総合センター3階)
主催 大阪北摂・星野さん・大坂さんを取り戻す会(準)

■加須絵画展

6月20日(土) 午前11時～午後8時
6月21日(日) 午前9時30分～午後7時
市民プラザかぞ1階視聴覚ホール
主催 星野文昭絵画展 加須実行委員会
星野さん大坂さん埼玉救援会



「沖縄・辺野古の海一平島から長島を望む」

絵 星野文昭 2011年制作

行ったことのない沖縄の海を、文昭はこんなふうを描いた。理想があり、辺野古の人々の闘いがある。2026年5月の沖縄は、イラン侵略戦争の出撃基地となっている。“沖縄を戦場にするな”

星野暁子

星野・大坂控訴審勝利へ 裁判費用300万円 カンパを訴えます

星野国賠控訴審の判決期日は6月26日に決まりました。2月13日の結審後も国は星野さん虐殺を全面的に居直る準備書面を提出し、裁判所に政治判断を迫っています。弁護団の闘い、専門医の協力で被告・国をここまで追い詰めることができました。闘いを支えた皆様からのカンパに心からのお礼を申し上げます。最後は力勝負です。「政治判決」を許さない闘いを、労働者民衆の反戦決起と一体で作り出しましょう。

この星野国賠の勝利の地平を発展させ、大坂正明さんを何としてもとり戻すことが私たちの次の目標です。大坂控訴審の期日はいまだに決まりません。一審判決のあまりのデタラメさを心理学者の鑑定意見書が突き刺し、裁判所を徹底的に追い詰めています。星野国賠勝利から大坂奪還へ、裁判闘争を支える300万円カンパに、引き続きご協力をお願いします。

郵便振替口座：00140-7-635858

口座名：星野・大坂全国救援会

〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226

Email: hoshinoosaka@ymail.ne.jp

大坂正明さん解放署名

4月25日現在 **7975筆**

全国の救援会の力で控訴審開始までに1万筆集めよう